

Snom320 取り扱い説明書

Ver2.0.10 2020/12/11 更新
Ver2.0.9 2020/05/26 更新
Ver2.0.8 2019/07/05 更新
Ver2.0.7 2019/03/05 更新
Ver2.0.6 2017/07/19 更新
Ver2.0.5 2017/06/13 更新
Ver2.0.4 2017/05/10 更新
Ver2.0.3 2016/06/09 更新
Ver2.0.1 2016/02/16 更新
Ver2.0.0 2015/07/03 更新



はじめに

ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- ・ Snom320本体
- ・ ACアダプタ
- ・ 受話器
- ・ カールコード
- ・ ACアダプタプラグパーツ2種(日本国内では平型のみを使用します。)
- ・ 取扱説明書

■免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ Snom320 は定期的なサービスマンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■お手入れ

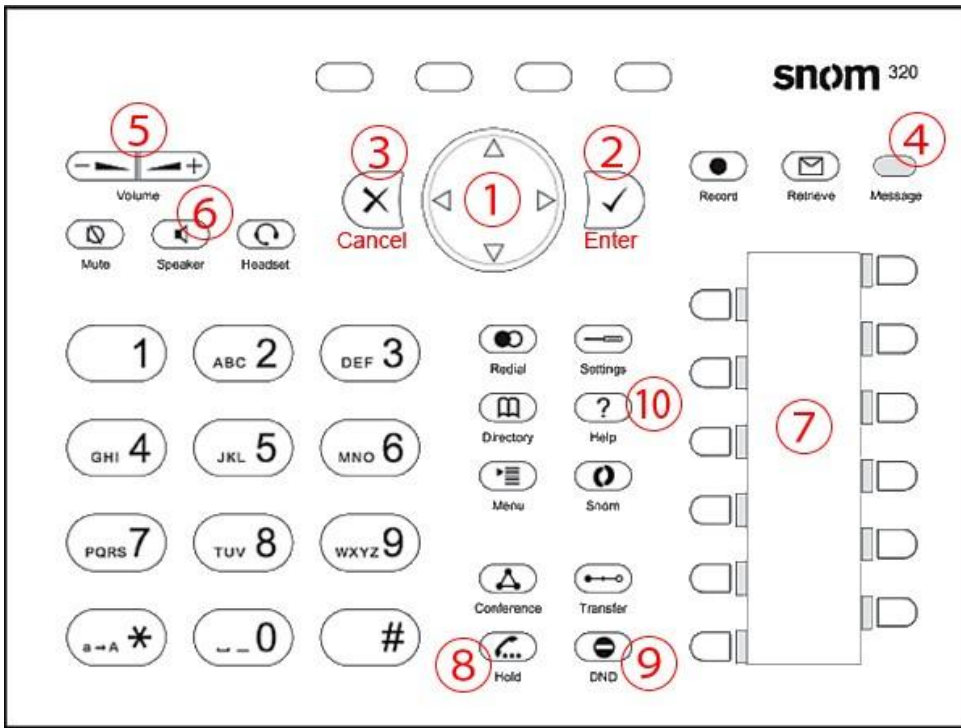
ぬれた雑巾は使用せず柔らかい乾いた布で拭いてください。しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

接続方法

1. 本体と受話器を受話器コードでつなげる
 2. イーサネットケーブルを本体後側の「NET」とブロードバンドルーターに差し込む
 3. プラグパーツをACアダプタに取り付け、コンセントに差し込む
 4. ACアダプタを本体に差し込む
- ※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。
接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- ※ 必ずSnom320本体後側の「NET」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。
本体後側の「PC」は、PC等接続しますと、Snom320を通してネットワークに接続する事が可能です。
- ※ PoE【PoweroverEthernet】に対応したブロードバンドルーターにSnom320(PoE対応バージョン)を接続するとACアダプタを接続しなくても使用することが出来ます。
- (注)ご利用の環境によって、PoE機能では動作しない場合があります。その場合はACアダプタをご利用ください。

Snom320とは

Snom320とは、弊社サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



① Navigationkey

ディスプレイ内のメニューを選択する事が出来ます。

② ENTERkey

設定を選択する際、発信する際に使用します。
発信する際には、ダイヤルした後に必ず「ENTERkey」を押します。

③ CANCELkey

キャンセルする際に使用します。

④ LEDforMWI

留守番電話がある時に、点灯します。

⑤ Adjuststhevolume

各種ボリュームの調節をします。

⑥ Turnthecasingspeakeron/off

スピーカーホンのon/offをします。

⑦ 右側の12個のボタン:プログラマブルキー

設定画面より、機能を割り当てることが出来ます。

⑧ HOLDkey

通話時に保留します。再び押すことで再度通話ができます。

⑨ DNDkey

着信拒否を設定します。

⑩ HELPkey

本体のIPアドレス・MACアドレス・バージョン情報を確認する際に使用します。

① Snom320本体のIPアドレスを確認する。

<ファームウェア8.4系の場合>

本体の「HELP key」を押すと、ディスプレイに「Information」メニューが表示されます。「IPAdr」「MAC」「Version」と表示されるので、「IPAdr」を上部ボタンより選択します。

<ファームウェア8.7系の場合>

Menuボタン → 5 Maintenance → 1 System Info とお進みください。

② webブラウザから、設定ページを開く。

Snom320と同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等のwebブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IPアドレス\)/](http://(IPアドレス)/) 例: 192.168.001.002だったら、<http://192.168.1.2/>

入力すると、以下のホーム画面が開かれます。

※機器を初期化した直後は設定ページにアクセスした際、ユーザ名/パスワードの入力を求められません。不正ログインを防止するため、必ず任意のログインユーザ名・パスワードを設定して下さい。変更方法が不明な場合、弊社までお問い合わせください。

peration
Home
Directory

etup
Preferences
Speed Dial
Function Keys
Identity 1
Identity 2
Identity 3
Identity 4
Identity 5
Identity 6
Identity 7
Identity 8
Identity 9
Identity 10
Identity 11

Did you update your phone already?

Stay up-to-date! The latest versions of snom firmware is now available for all snom devices - click on the link below for the official 8.7.3.25 update:

[Click here and choose your phone model](#)

Some settings are not yet stored permanently. Save View Changes ?

This web interface makes it easy for you to set your phone up correctly and to access the advanced features.

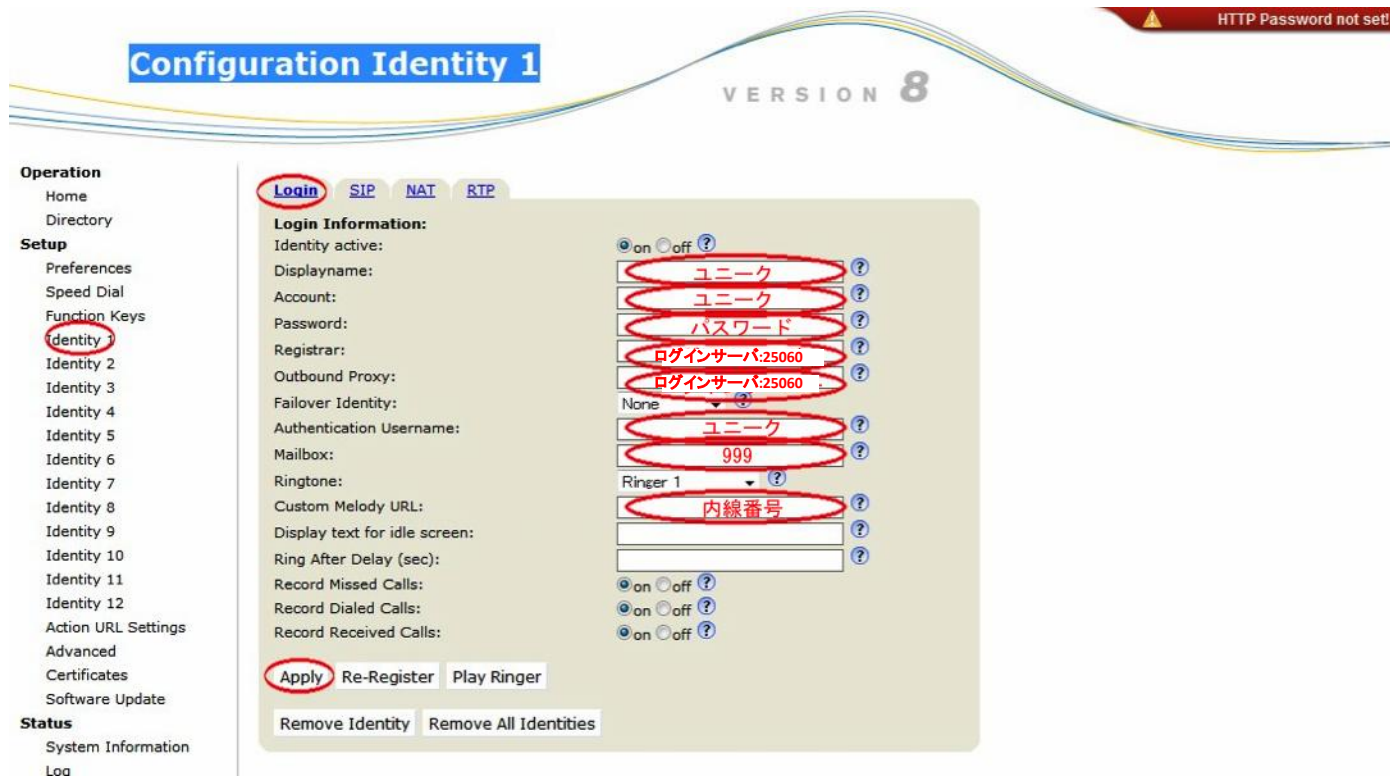
To dial a number, just enter the number in the field below. You can enter a simple telephone number (e.g. 0114930398330) or URI like info@snom.com.

Dial a Number:
 Dial Hangup

Outgoing Identity:
 Set

HTTP Password not set!

③ 設定画面がwebブラウザに表示されますので、左メニューより「Identity1」をクリックし、以下のように設定します。



Displayname: & Account: ユニーク(10桁の数字)を入力します。

Password: 登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。
もし、マイページ内「ユニーク管理ページ」にてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

Registrar: & OutboundProxy: お客様管理ページに記載されているログインサーバを入力し、その後ろに“:25060”と入力します。
※管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバの後ろの“:25060”は入力しないで下さい。

Authentication Username: ユニーク(10桁の数字)を入力します。

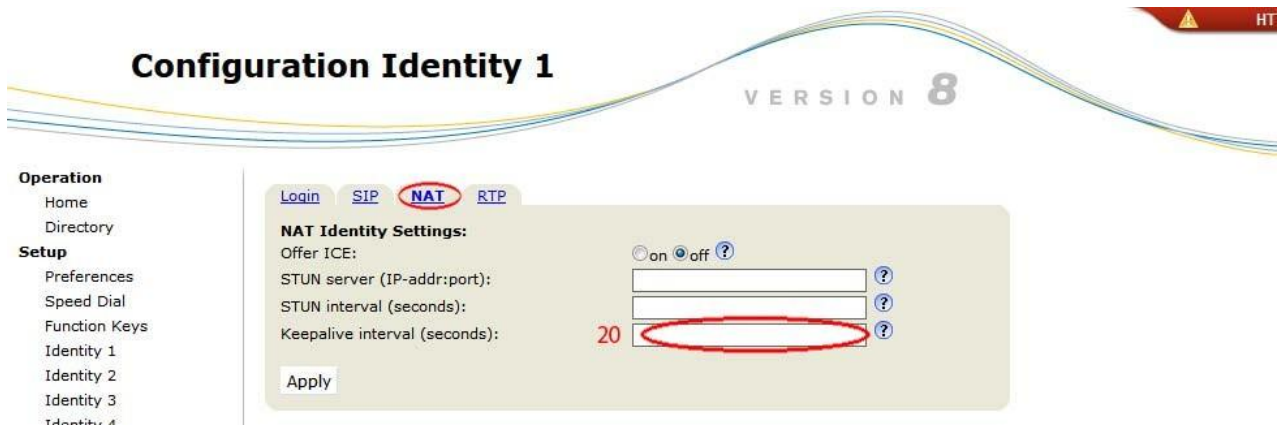
Displaytextforidlescreen: デ스플레이画面に表示させる内線番号を入力します。※任意ですので空欄でも結構です。

全ての設定が終わりましたら、「Apply」をクリックします。
そうしますと以下のように「Some settings are not yet stored permanently.」と出ますので、「Save」をクリックします。
※他の場所でも出る時がありますので、変更したのなら、そのつど「Apply」と「Save」を押してください。

・着信音の変え方

前ページ画面中ほどの「Ringtone」から音を選択し、「Apply」をクリックして「Save」をクリックして保存します。
「PlayRinger」をクリックすると、音を確認する事が出来ます。
※音量の変更は待ち受け時、本体キーパッドの左上、Volumeボタンにて調整します。

- ④ 画面上部の「NAT」をクリックし、以下のように設定します。

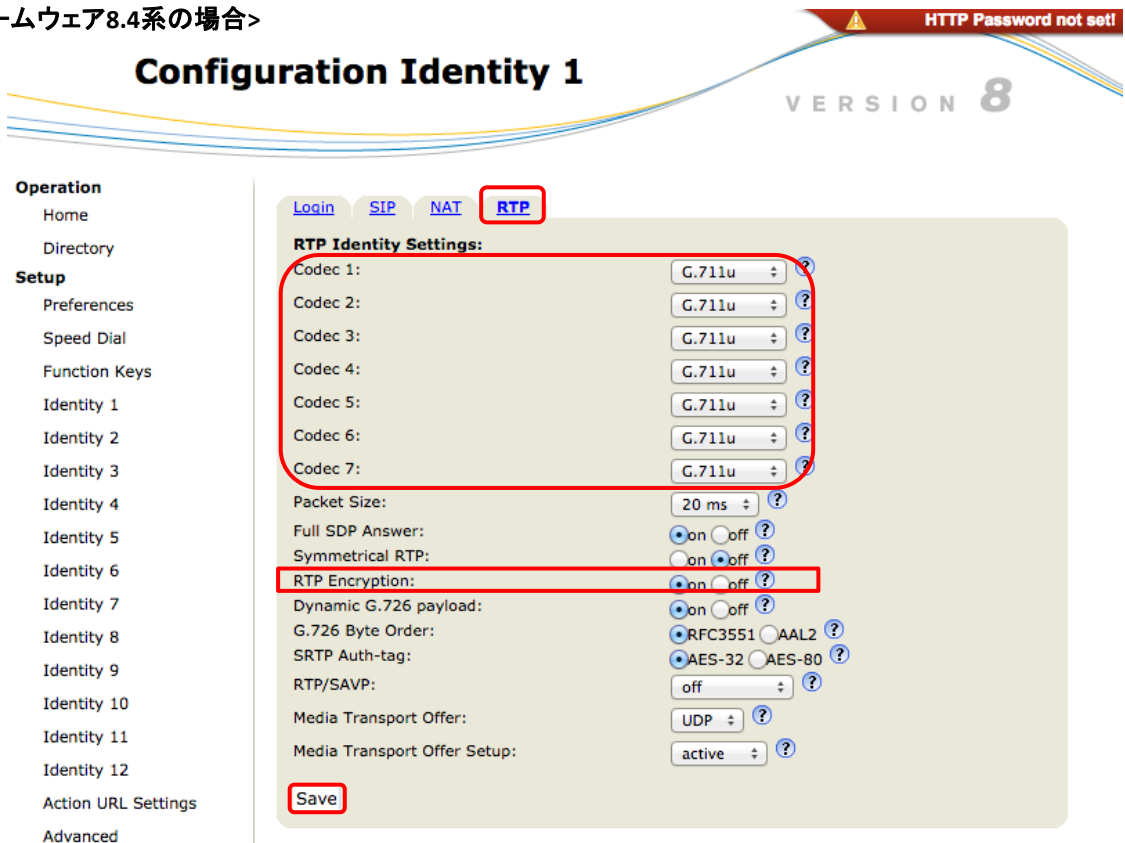


Keepaliveinterval(seconds): 「20」を入力します。

終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

- ⑤ 画面上部より「RTP」をクリックし、以下のように設定します。

<ファームウェア8.4系の場合>



選択肢1～7: 「G.711u」を選択します。



※ 「G.711u」以外のコーデックを使用する場合も選択肢1～7を統一させて下さい。

RTP Encryption : ON

※クラウドコールセンターシステムの端末として利用する場合、OFFにしてください。


終わりましたら「Save」をクリックします。


<ファームウェア8.7系の場合>

 Some settings are not yet stored permanently. **Save** View Changes 


[Login](#) [Features](#) [SIP](#) [NAT](#) **[RTP](#)**


RTP Identity Settings:


Codec: 


Packet Size: 


Filtered codec list: pcmu, telephone-event


Full SDP Answer: on off 


Symmetrical RTP: on off 


RTP Encryption: on off 


G.726 Byte Order: RFC3551 AAL2 

SRTP Auth-tag: AES-32 AES-80 

RTP/SAVP: 

Media Transport Offer: 

Media Transport Offer Setup: 

Multicast relay address: 

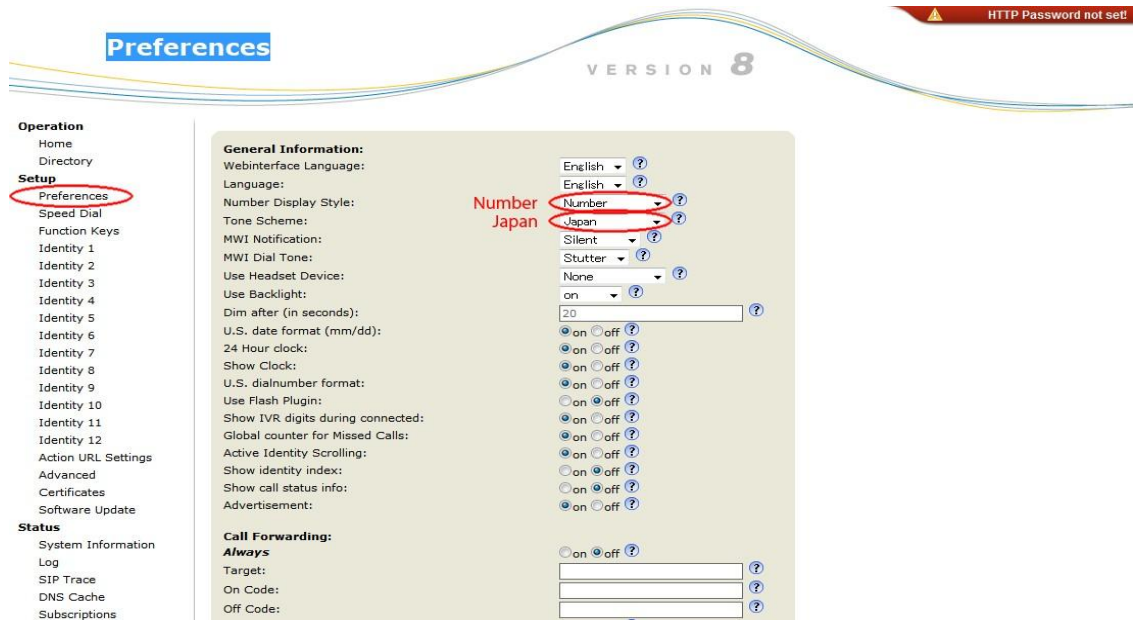
Apply

Codec : **pcmu,telephone-event**と記載します。

RTP Encryption : **OFF**にしてください。

終わりましたら、「Apply」をクリックして、画面上部の「Save」をクリックして下さい。

⑥ 左メニューより「Preferences」をクリックし、以下のように設定します。



WebinterfaceLanguage: 「English」を選択します。

Language: 「English」を選択します。

NumberDisplayStyle: 「Number」を選択します。

ToneScheme: 「Japan」を選択します。

終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

⑦ ボタンの割り当てを設定します。

HTTP Password not set!

Function Keys

VERSION 8

Operation

Home
Directory

Setup

Preferences
Speed Dial
Function Keys

Identity 1
Identity 2
Identity 3
Identity 4
Identity 5
Identity 6
Identity 7
Identity 8
Identity 9
Identity 10
Identity 11
Identity 12

Action URL Settings

Advanced

Certificates

Software Update

Status

System Information
Log
SIP Trace
DNS Cache
Subscriptions
PCAP Trace
Memory
Settings

Manual

snom
VoIP phones

© 2000-2011 snom AG

? Key Settings:

On this page you can specify the settings for programmable keys on your snom phone. Use **Context** to specify the identity context for that key e.g. this identity will be used to subscribe for a particular extension. **Type** will select the actual functionality of a particular key. In the last argument field **Number**, the actual telephone number, sip url, dtmf sequence, action url or key type can be stored. Please refer to your phone manual for more details.

Context	Type	Number
RECORD	Key Event	Record
RETRIEVE	Key Event	Retrieve
REDIAL	Key Event	Redial
HELP	Key Event	Help HELP
SNOM	Key Event	None
CONFERENCE	Key Event	Conference
TRANSFER	DTMF	#9
HOLD	Key Event	Hold
DND	Key Event	DND
DIRECTORY	Key Event	Directory
MENU	Key Event	None

Active	Line	
P1	Active	
P2	Active	
P3	Active	
P4	Active	
P5	Active	
P6	Active	

Apply

左メニューから「FunctionKeys」をクリックし、以下の様に入力します。

HELPSNumber: 「**HELP**」を選択します。

TRANSFAR Type: 「**DTMF**」を選択します。

TRANSFARNNumber: 「**#9**」を選択します。

終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

⑧ 左メニューより「Advanced」をクリックし、以下のように設定します。

Advanced Settings

VERSION 8

HTTP Password not set!

Operation

- Home
- Directory

Setup

- Preferences
- Speed Dial
- Function Keys
- Identity 1
- Identity 2
- Identity 3
- Identity 4
- Identity 5
- Identity 6
- Identity 7
- Identity 8
- Identity 9
- Identity 10
- Identity 11
- Identity 12
- Action URL Settings
- Advanced**
- Certificates
- Software Update

Status

- System Information
- Log
- SIP Trace
- DNS Cache

Network Behavior Audio SIP/RTP QoS/Security Update

Network:

DHCP: on off ?

DHCP ignore list: ?

IP address: 192.168.70.33 ?

Netmask: 255.255.255.0 ?

Host Name: ?

IP Gateway: 192.168.70.1 ?

DNS:

Domain: ?

DNS Server 1: 192.168.70.1 ?

DNS Server 2: ?

Time:

NTP Time Server: ntp.jst.mfeed.ad.jp ?

NTP Refresh Time (sec): 3600 ?

Timezone: +9 Japan (Tokyo) ?

HTTP:

HTTP Proxy: ?

HTTP port: 80 ?

HTTPS port: 443 ?

Websserver connection type: http or https ?

Auto Logout (min): ?

NTPTimeServer: 「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

NTPRefreshTime(sec): 「+9Japan(Tokyo)」を選択します。

終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

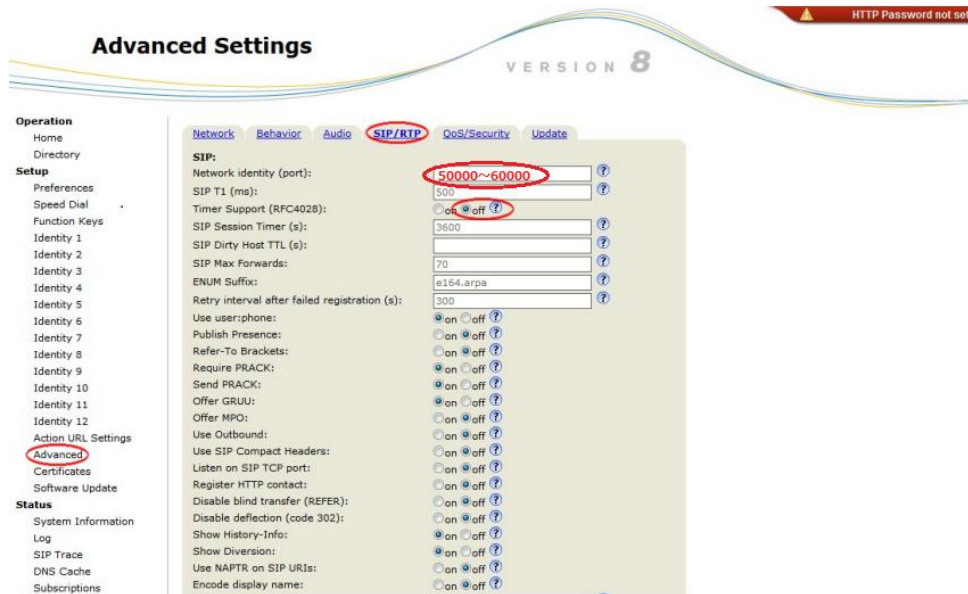
⑨ 画面上部の「QoS/Security」をクリックし、以下のように設定します。

The screenshot shows the 'Advanced Settings' interface for a snom VoIP phone. The 'QoS/Security' tab is selected and highlighted with a red circle. The 'Filter Packets from Registrar' option is also highlighted with a red circle and the word 'off' is written next to it. The 'Advanced' option in the left sidebar is also highlighted with a red circle. The interface includes a navigation menu on the left, a top status bar with 'HTTP Password not set!', and a main content area with various configuration sections like Quality of Service, VLAN, IEEE 8021x Authentication, and HTTP Server/Client/Proxy settings. A 'Save' button is located at the bottom of the main content area.

Filter Packets from Registrar: “off”に変更します。

終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

- ⑩ 画面上部の「SIP/RTP」をクリックし、以下のように設定します。



TimerSupport(RFC4028): “off”に変更します。

Network Identity(port): 50000~60000のいずれかの数字を入力します。

※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当て下さい。

例: 端末Aには50000、端末Bには50001

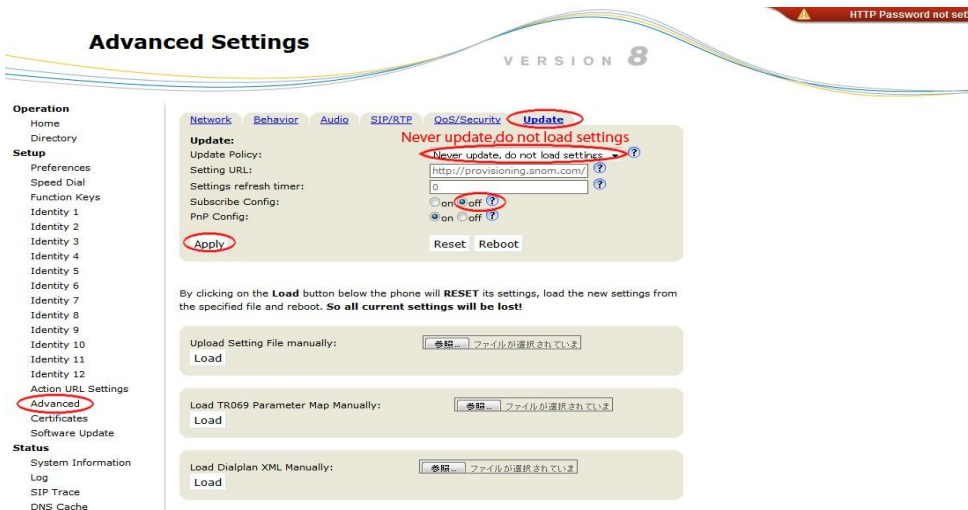
終わりましたら「Apply」をクリックし、上部に選択肢が現れるので「Save」をクリックします。

- ⑪ 画面上部の「Update」をクリックし、ファームウェア更新の設定をします。

下記画面ではファームウェア更新を自動的に行わない設定にしております。

ご利用の環境/セキュリティポリシーに合わせて適宜変更して下さい。

終わりましたら画面の一番下にあります、「Apply」ボタンをクリックします。



UpdatePolicy: 「“Never update, do not load settings”」を選択します。

SubscribeConfig: 「off」を選択します。

PnPConfig: 「on」を選択します。

※ 全ての設定が終わりましたら、「Apply」をクリックして設定を保存し、「Reboot」をクリック後「YES」にて機器を再起動させ、設定を反映させます。

端末のレジスト(登録)を確認します

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

解約	解約取消	詳細	ユニーク▲▼	状態 ?	名称▲▼	所属▲▼	ピックアップグループ	着信			発信			U種別 ▲▼	備考
								内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000888888	✓			Default	200	-	-	200	-	-	目	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0000999999	✗			Default	201	-	-	201	-	-	目	

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。



・・・レジスト(登録)ができています。



・・・レジスト(登録)が失敗しています。クリックすると失敗のステータスを確認することができます。

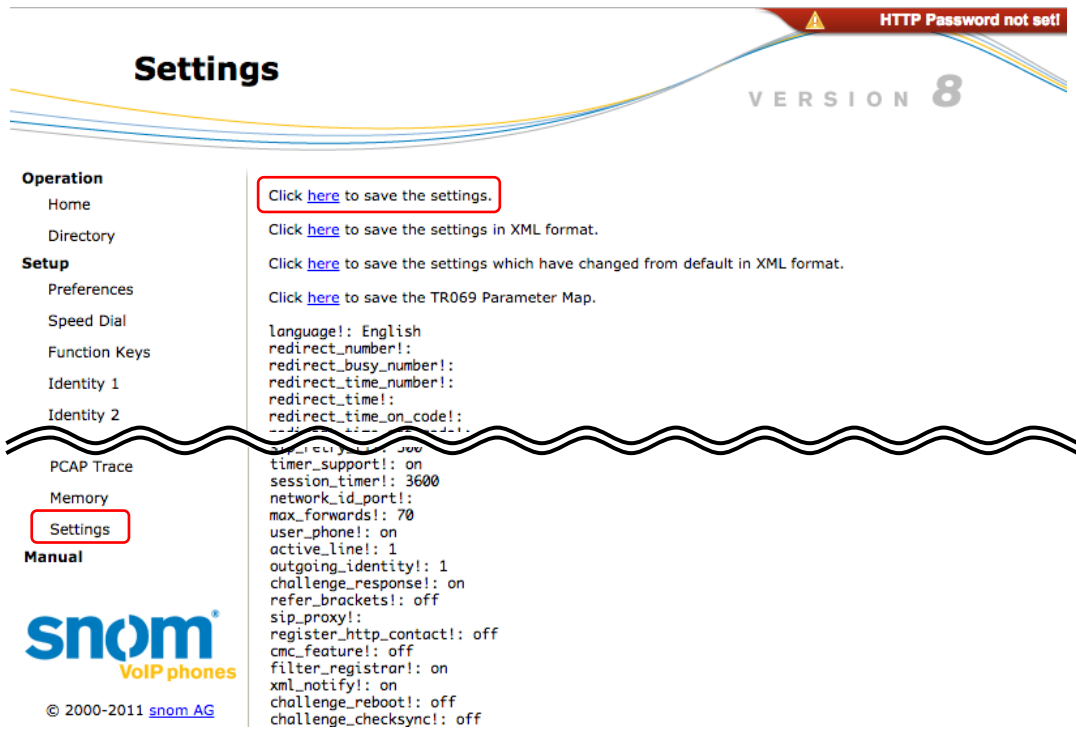
レジストができていた状態になったら、設定完了になります。

※レジストが失敗している場合、端末に入力したユニーク、端末パスワード等に間違いがないかご確認ください。

端末設定のバックアップ

端末を初期化する際などに設定のバックアップをしたい場合は以下の手順を行ってください。

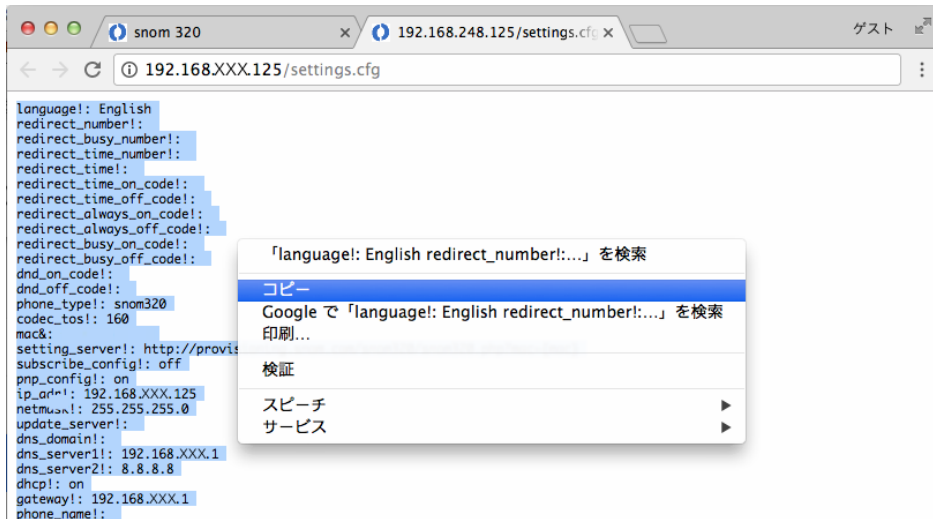
左メニューにある「Settings」をクリックします。



「Click here to save the settings.」の [here](#) のリンクをクリックします。

ブラウザの新しいタブで「http://IPアドレス /settings.cfg」が開き、設定ファイルが表示されます。

下のように設定ファイルをコピーし、メモ帳などに貼付けて保存します。



※設定ファイルにはSIPアカウント等のパスワードは含まれていません。
バックアップ復元後、パスワードの入力が必要になります。

バックアップの復元方法

バックアップファイルから設定を復元させる場合は以下の手順を行なってください。

左メニューにある「Advanced」をクリックし、画面上部の「Update」タブをクリックします。

Advanced Settings

VERSION 8

HTTP Password not set!

Operation

- Home
- Directory

Setup

- Preferences
- Speed Dial
- Function Keys
- Identity 1
- Identity 2
- Identity 3
- Identity 4
- Identity 5
- Identity 6
- Identity 7
- Identity 8
- Identity 9
- Identity 10
- Identity 11
- Identity 12
- Action URL Settings
- Advanced**
- Certificates
- Software Update

Network Behavior Audio SIP/RTP QoS/Security **Update**

Update:

Update Policy: Never update, load settings only ?

Setting URL: http://provisioning.snom.com/sr ?

Settings refresh timer: 0 ?

Subscribe Config: on off ?

PnP Config: on off ?

Save Reset Reboot

By clicking on the **Load** button below the phone will **RESET** its settings, load the new settings from the specified file and reboot. **So all current settings will be lost!**

Upload Setting File manually: ファイルを選択 snom320.cfg

Load

Load TR069 Parameter Map Manually: ファイルを選択 選択できません

Load

Load Dialplan XML Manually: ファイルを選択 選択できません

Load

Update Setting File manually: 「ファイルを選択」をクリックして[端末設定のバックアップ]の手順で保存したファイルを選択します。

「Load」ボタンをクリックします。

※「Load」ボタンを押すと端末リセットを行なった後にバックアップファイルの設定が読み込まれますので、現在の設定が全て消去されます。

再起動が終わると、端末にバックアップファイルの設定が反映され、バックアップの復元が完了します。

※設定ファイルにはSIPアカウント等のパスワードは含まれていません。

バックアップ復元後、6ページの ③ の手順をご覧になり、パスワードの入力を行なって下さい。

Manual Software Update

VERSION 8



HTTP Password not set!

Operation

Home
Directory

Setup

Preferences
Speed Dial
Function Keys
Identity 1
Identity 2
Identity 3
Identity 4
Identity 5
Identity 6
Identity 7



Some settings are not yet stored permanently. Save View Changes ?

You may explicitly specify which software version you want to run on this phone. Fill in the http URL which is pointing to the firmware you want to use. Please use **only a complete http URL** (like <http://www.snom.com/download/share/snomXXX-YYY.bin>). The phone will reboot after you press the load button.

Manual Software Update:

Firmware:



Load

<http://provisioning.snom.com/download/fw/snom320-8.4.35-SIP-f.bin>

① 電話機の設定画面を開き、左メニューより「SoftwareUpdate」をクリックします。

② 上図画面が開いたらFirmware:欄に下記URLを入力してLoadをクリック後、本体のEnter Key を押してください。するとアップデートが開始されます。

<ファームウェア8.4系>

<http://downloads.snom.com/fw/snom320-8.4.35-SIP-f.bin>

<ファームウェア8.7系>

<http://downloads.snom.com/fw/snom320-8.7.5.35-SIP-f.bin>

※ファームウェアのアップデートは数分かかります。アップデート中は電源の抜き差しや、端末の操作をしないで下さい。

③ アップデートが完了し、端末の再起動が終わりましたら、ファームウェアを確認します。

「HELPkey」を押します。ディスプレイに「IPAdr」「MAC」「Version」の3つの項目が表示されますので、「Version」の対象になっているボタンを押します。

ファームウェアが表示されます。

発信コールした際にディスプレイに「disconnectedNetwork」表示が出た場合の対処法

※この不具合はバージョン8以降のものです。

お使いのSnom320と同じネットワーク内にあるPCからブラウザに下記URLを入力してエンターをクリックして下さい。

※端末IPアドレスの箇所をSnom320のIPアドレスに置き換えて入力して下さい。

「http://端末のIPアドレス/dummy.htm?settings=save&ip_frag_enable=on」

バージョン8.4.35の場合

端末ディスプレイでApply ~ change?と聞かれたら端末の✓を押して下さい。

自動で再起動がかかり、起動後完了です。

発着信履歴の見方

① 設定画面から確認

最初に表示される画面、もしくは左メニューの「Home」を押した場合に、下記画面より確認する事が出来ます。

DialedNumbers: その電話機から発信した履歴

MissedCalls: その電話機に着信したが、取らなかった履歴

ReceivedCalls: その電話機で着信を取った履歴

画面上の電話番号をクリックすると、その電話機からその番号へワンタッチで発信する事が出来ます。

Welcome to Your Phone! VERSION 8

HTTP Password not set!

Operation

- Home
- Directory

Setup

- Preferences
- Speed Dial
- Function Keys
- Identity 1
- Identity 2
- Identity 3
- Identity 4
- Identity 5
- Identity 6
- Identity 7
- Identity 8
- Identity 9
- Identity 10
- Identity 11
- Identity 12
- Action URL Settings
- Advanced
- Certificates
- Software Update

Status

- System Information
- Log
- SIP Trace
- DNS Cache
- Subscriptions
- PCAP Trace
- Memory
- Settings

Manual

Did you update your phone already?

Stay up-to-date! The latest versions of snom firmware is now available for all snom devices - click on the link below for the official 8.7.3.25 update:

[Click here and choose your phone model](#)

Some settings are not yet stored permanently. Save View Changes ?

This web interface makes it easy for you to set your phone up correctly and to access the advanced features.

To dial a number, just enter the number in the field below. You can enter a simple telephone number (e.g. 0114930398330) or URI like info@snom.com.

Dial a Number:

Dial Hangup

Outgoing Identity:

0000219797@voip3029.agile.ne.jp Set

[Dialled](#), [Missed](#), [Received](#)

Dialled Numbers ✕

Date	Time	Duration	Costs:	Local Identity	Number
------	------	----------	--------	----------------	--------

Missed Calls ✕

Date	Time	Missed	Local Identity	Number
------	------	--------	----------------	--------

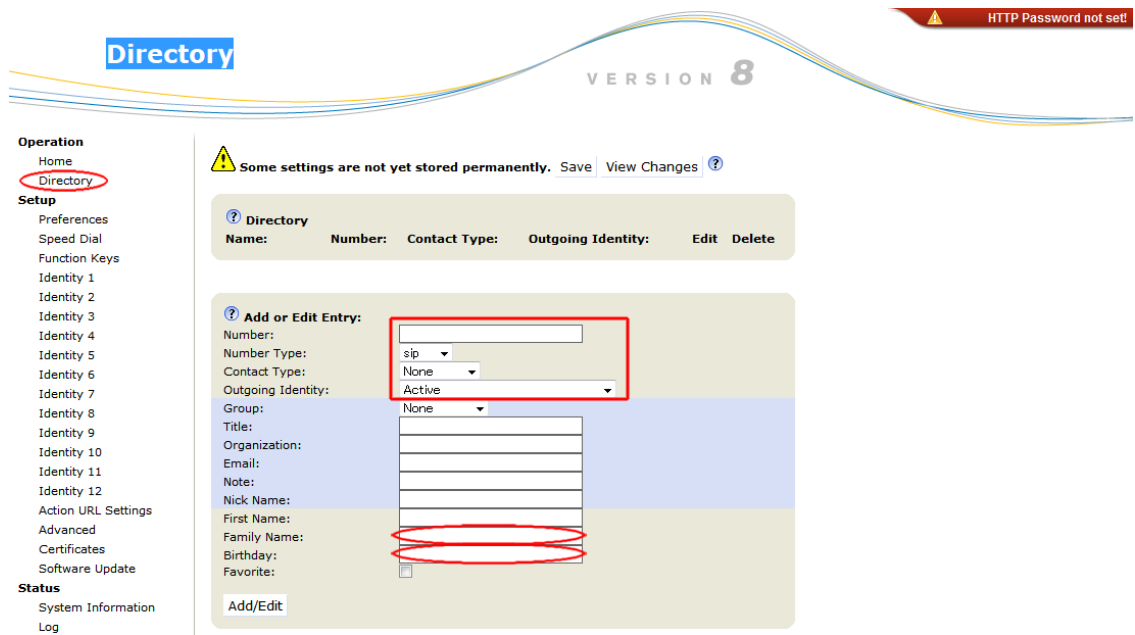
Received Calls ✕

Date	Time	Duration	Costs:	Local Identity	Number
------	------	----------	--------	----------------	--------

② 電話機本体から確認

ディスプレイメニューの左から2番目のボタン「CHist」を選び、「callHistory」と表示されます。

ディスプレイから確認したいリスト[Missed,Received,Dialed]の対象になっているボタンを押します。



電話機の設定画面を開き、左メニューから「Directory」をクリックします。
画面中央の、「AddorEditEntry」にて、拒否したい電話番号を入力し、「Add/Edit」をクリックします。

Number : 拒否したい番号
NumberType : sip
ContactType : DenyList
OutgoingIdentity : Active

「Add/Edit」を押すと、画面上の表に、追加した電話番号が表示されます。
解除したい場合は、その電話番号の右横のDeleteをクリックします。

※ 非通知着信拒否に関しては、拒否したい番号を「anonymous」として登録します。電話機ごとに設定が必要です。
公衆電話からの着信に関しても、「anonymous」とすることにより拒否設定とすることが出来ます。

例) Number:anonymous

・発信時に特定番号を付加する方法

例) 発信時に自動的に先頭に「184」を付加する設定

ユニークを設定しているIdentityページを開きます。(基本設定③のページ)

上のタブSIPを選択し、Dial-Plan Stringに`^(0[0-9]*)$|sip:184¥1@¥d;phone=yes`を入力してください。



The screenshot shows the 'Configuration Identity 1' web interface. At the top right, there is a warning: 'HTTP Password not set!'. The main content area is titled 'SIP Identity Settings' and includes a warning: 'Some settings are not yet stored permanently. Save View Changes'. The 'Dial-Plan String' field is highlighted with a red oval and contains the text: `^(0[0-9]*)$|sip:184¥1@¥d;phone=yes`. The left sidebar shows a navigation menu with 'Identity 1' selected. The top navigation tabs include 'Login', 'SIP', 'NAT', and 'RTP', with 'SIP' being the active tab.











※設定をすると常に184発信となるため内線発信ができなくなります








※弊社サービスの内線転送はご利用いただけません

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
 注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 警告	
	煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

<ファームウェア8.4系の場合>

1. 本体の「Navigationkey」←→を数回押し、「configuration」と本体ディスプレイに表示させます。
2. ディスプレイ下段に「Reg」「Reset」「Reboot」「CHCP」と表示されるので、「Reset」下のボタンを押します。
3. パスワードを要求されますので、「0000」と入力して、「Enterkey」(発信ボタン)を押します。
4. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。

<ファームウェア8.7系の場合>

1. 本体の「Navigation Key」↑を押し、メニューを表示させます。
2. ↑を数回押し「5 Maintenance」で「Enter key」を押します。
3. ↓を数回押し「4 Reset Values」で「Enter key」を押します。
4. パスワードを要求されますので、「0000」と入力して、「Enter key」(発信ボタン)を押します。
5. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。

●その他の設定

デフォルトの設定ではキャッチは有効になっています。キャッチを無効にする場合は、下記の通り、設定してください。

<ファームウェア8.4>

Advanced Setting>Audioをクリックし、Call Waiting Indicationをoffにします。

<ファームウェア8.7>

Identity>SIPをクリックし、Call Wating Indicationをoffにします。